



南条つ子

南条小学校 校長室だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R1.10.3 No.53

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

○ 6年生 全国学力・学習状況調査結果 その1

4月18日(木)に、全国の小学6年生・中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、お知らせします。なお、本校は、国語・算数の両教科ともに、福井県の結果を上回る大変良好な結果でした。 ※広報『南えちぜん』10月号P. 9もご覧ください。

	全国(正答率)	福井県(正答率)
国語	63.8%	72.0%(全国2位)
算数	66.6%	69.0%(全国4位)

全国(公立) 102万8177人 福井県 6846人 本校 39名 受検

【国語】本校の6年生が、福井県の正答率より3ポイント以上低かった問題 2問

☆習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気づき、書き直すことにしました。「そこで、地いきの人三十人を調査のたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。」
_____のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

同音異義語の漢字問題です。「たいしょう」という漢字には、対象、対称、対照、大賞、大将、大正、大勝などがありますが、高校入試などでよく出題されるのは、「対象・対称・対照」の使い分けです。意味の違いが分かり、その漢字を書けるかどうかポイントです。

- 対象:** (働かかける) 目標や目的となるもの 使用例: 「対象」年齢6歳以上
- 対称:** 互いに対応してつり合っていること 使用例: 左右「対称」に設計
- 対照:** 二つのものを照らし合わせて比較すること、違いが際立つ二つのものが並ぶこと 使用例: 「対照」的な性格の兄と弟

答え 対象

☆宮原さんは自分でも梅干しを作ろうと思い、必要な情報が書かれていそうな本を選びました。次は、「知りたいこと」と本の「目次の一部」です。読むページとして最も適切なものを、あとの ①から④までの中から1つ選びましょう。

「知りたいこと」

梅干しを作るには、塩はどのくらい必要で、いつ入れたらいいのかな。

「目次の一部」 第2章 梅干し

- 梅干しはどこからきたのか …… 40 ページ ①
- ・梅干しの起源

- はじめてでも簡単！おうちで梅干し …… 55 ページ ②
- ・梅と塩、道具の選び方 ・作り方の手順とポイント
- 梅干しの活用術 …… 67 ページ ③
- ・いわしの梅煮 ・わかめと梅干しのスープ
- 梅干しの豆知識 …… 77 ページ ④
- ・故事とことわざ

梅干しを作るために必要な塩の量と、いつ塩を入れるかについて知りたいので、「作り方の手順とポイント」に書かれている内容を読むと分かります。

答え ②

【算数】本校の6年生が、福井県の正答率より3ポイント以上低かった問題 1問

☆[ことねさんの計算の仕方]

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \\ \\ \end{array} \right\} \text{変わらない}$$

$$1600 \div 100 = 16$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \\ \\ \end{array} \right\} \text{変わらない}$$

$$10 \div 2 = 5$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

[ことねさんの計算の仕方]をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$\begin{array}{r} 600 \div 15 = \square \\ \downarrow \text{①} \quad \downarrow \text{②} \\ \square \div \square = \square \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \\ \\ \end{array} \right\} \text{変わらない}$$

だから、 $600 \div 15$ の答えの \square は、 \square です。

上の①にあてはまるものを、下の \square の中から1つ選び、また、上の②にあてはまるものを、下の \square の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでもかまいません。

$$\text{① } \square \times 2 \div 3 \div 5 \quad \text{② } \square \times 2 \div 3 \div 5$$

さらに、上のエ、オ、カ、キに入る数を書きましょう。

①、②は、3つのうちの同じものを選びます。エ、オは、①、②で選んだ計算をした答えが入ります。また、カ、キは、 $600 \div 15$ の答え、40が入ります。

答え ① $\square \times 2 (\div 3) (\div 5)$ ② $\square \times 2 (\div 3) (\div 5)$
 エ 1200 (200) (120) オ 30 (5) (3) カ 40 キ 40